

ながすまち たまな  
有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)  
第2回 参考資料

令和7年3月11日

国土交通省 九州地方整備局

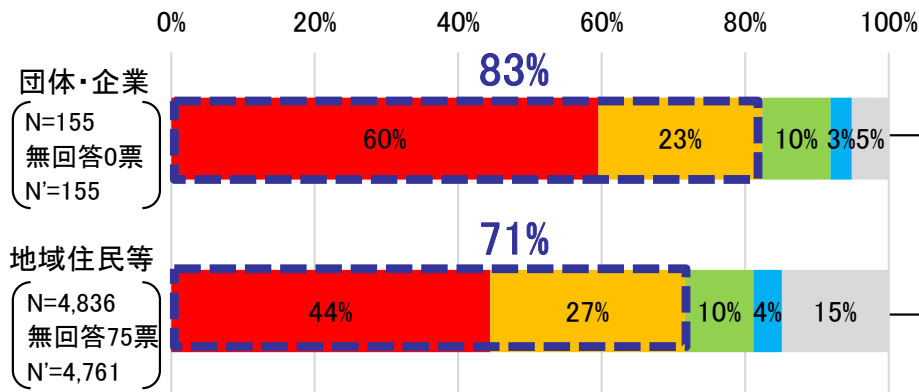
# 第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「暮らし」>

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

### <課題①-1: 朝夕のピーク時等で移動に時間がかかると感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、渋滞への不満や交通混雑による定時性の低下、生活道路への交通の流入といった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、道路整備に伴う交通分散による渋滞解消が求められている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



#### <団体・企業>

- 国道501号と岱明玉名線の交差点は毎日のように混雑している。(団体)
- 区間全体というよりはスポット的に混雑している。特に国道208号は夕方は信号で通過できないことも多い。(団体)
- 通勤通学時間等交通混雑が発生する時間帯を避けて運送する必要がある。早朝に出発し、輸送先で待機することが多い。(運輸・郵便業)
- 渋滞がひどい。信号待ちをすることが多い(一つの信号で2~3回待つこともある)。(製造業)
- 地域によっては朝夕関係なく信号待ちで混雑する所がある。(卸売・小売業)
- 朝夕の現場の行き帰りで渋滞を感じる。(建設業)
- 熊本市内と比較すると、そこまで混雑しないため。(サービス業)
- 時間帯によっては混むことがあるが、あまり気にならない(荒尾市付近やバイパス接続部は混む)。(団体)

#### <自治体意見>

- ・ 平日の朝夕はもちろんであるが、休日の昼間でも渋滞し移動に時間を要する状況であり、国道の渋滞により接続する県道、市道の渋滞も慢性化している状況である。(荒尾市)
- ・ 国道208号については、特に主要渋滞箇所である西照寺交差点で交通混雑が発生している。国道501号については、名石浜工業団地等に企業が集積していることもあり、朝ピークは熊本市方面から長洲町方面へ、夕ピークは長洲町方面から熊本方面へといった形で渋滞が発生している状況。片側1車線となっていることもあり、ピーク時には名石浜工業団地の前から菊池川まで渋滞することもある。(長洲町)
- ・ 有明海沿岸道路が大型車等の通過交通を担うことにより、地域の生活道路の通行が緩和されスムーズな通行が期待できる。(玉名市)
- ・ 移動時間短縮の観点から、速達性の向上が課題である。本道路の整備により、渋滞緩和による朝夕の定時性の確保が期待される。(熊本県)

#### <地域住民・広域的な道路利用者>

- 主要道路が国道しかないためピーク時に時間がかかるのがやむを得ない状況である。また混雑回避のために細い道を制限速度よりも早く通行する車両により危険な場面にも遭遇する。
- 広域の道路は選択肢が限られるので長い渋滞が発生している。円滑な移動のためには分散させる道路が必要だと思った。
- 混雑し過ぎていてガソリンも多く使うので環境面でも経済面でも負荷がかかっている。また渋滞が多いので移動先までの時間が読めない。土日でも渋滞が多いので外出意欲そのものがなくなってしまう。
- 以前国道を通行したが、車が混雑し約束の時間に遅れた事があった。
- 月に何度か通行するが、車で移動であるので特に時間がかかることを体感する。
- 朝夕にあまり利用しないので生活に支障を感じておりません。
- ピーク時は外して利用している。

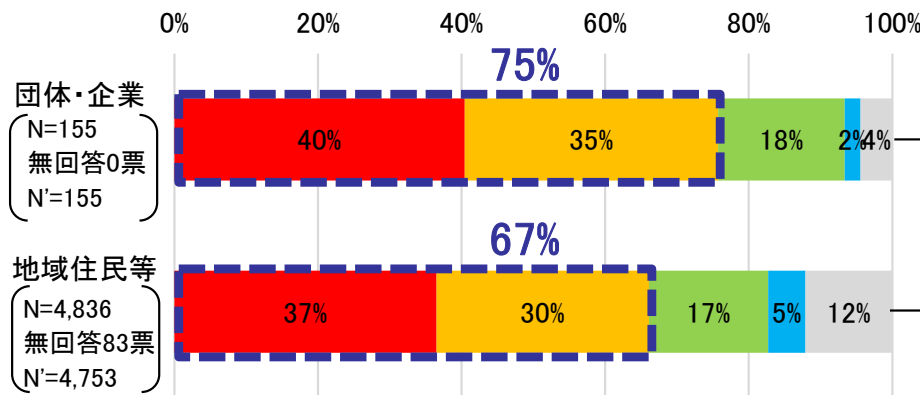
# 第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「暮らし」>

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題①-2: 交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故等の危険が多い区間だと感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、大型車等の通過交通の流入や交通混雑により交通事故の危険性が高いといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、道路整備に伴う大型車等の通過交通の分離による安全性向上が求められている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



### <団体・企業>

- 信号交差点が多いことや片側一車線であることで、大型車の通行の際に追突や右左折時の巻き込み、すれ違い等で交通事故の危険性を感じる。(運輸・郵便業)
- 時間帯によっては、通勤・通学の車両、自転車、歩行が混在して危険。特にトラックと自転車が混在している。生活道路と輸送を分離したほうが良い。(運輸・郵便業)
- 追突事故をよく見かける。安全性が低い。(団体)
- 事故現場に遭遇したことがある。(卸売・小売業)
- 追突事故に加え、バイクのすり抜けによる接触等、交通混雑に起因する事故が発生している状況。(製造業)
- 混雑しているという印象が強く、危険と思うことはない。(サービス業)
- 感じたことはない。(建設業)

### <自治体意見>

- ・ 交通混雑時の追突等の交通事故への危険性はもちろんのこと、大型車の通行も多いため、二輪車や歩行者の通行における危険性も高いと感じる。また、朝夕ピーク時以外の日中や早朝、深夜の時間帯でも大型車の通行量が多いため、危険性を感じる場面は多い。(長洲町)
- ・ 大型車両の通過交通が多いが、道路幅員が狭いこともあり、交通事故が多発するなど危険性が高い道路と認識している。有明海沿岸道路の整備により、2つの国道で大型車両の通過交通が減少することから、事故の危険性も低くなると思われる。国道以外の生活道路についても、交通の分離が図られるため交通事故の減少が期待できる。(玉名市)
- ・ 国道208号を通過する産業用の大型車両は多いため、重大な事故等が発生する危険が高く安全性の向上が必要と考える。(玉東町)

### <地域住民・広域的な道路利用者>

- 長洲町には工業地帯があり、大型車と普通車やバイクなどが混在するとともに交通混雑も発生し、危険と感じる。
- 道路幅が狭い割に、大型車と普通車、バイクや自転車も混在して通行していて、歩道の無い区間もあり、特に朝夕の通勤時間帯は危険だと感じるため。
- 通勤時間帯に何度も交通事故に遭遇したことがある。
- 数回しか通行していないが、そのときでも大型車の交通量も多いと感じたため。
- 大型車の通行は少ないほうがよいが、事故に出くわしたことはほとんどない。
- 熊本市内と比べて比較的混雑は穏やか。

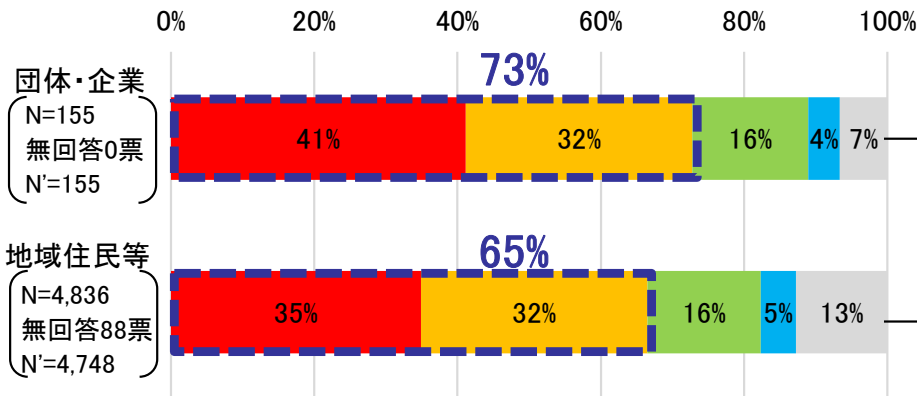
# 第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「医療」>

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題②: 地域内外の医療機関や熊本市の大規模な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、地域内や熊本市内の医療機関までの時間がかかる、渋滞に巻き込まれるといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、地域内や熊本市内の医療機関への円滑な移動・搬送の実現が求められている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



### <団体・企業>

- 幹線道路が限られると、渋滞時・災害時の救急搬送等に大いに不安を感じる。自分や家族の救急時に病院に行くまでに渋滞に巻き込まれたらと思うと恐ろしくてたまらない。(製造業)
- 有明海沿岸道路が整備されたことで久留米方面へのアクセス性が向上したこともあり、久留米市内の第三次救急医療施設へ行くことが増えたのではないかと考える。逆に熊本市方面については、ドクターヘリが必要なほどアクセス性が低いと考える。救急搬送先の選択肢の増加という視点では、熊本市方面の道路整備による速達性の確保が課題。(団体)
- 熊本市内のドクターヘリもあるが、機数に限りがあることや夜間に飛行できないことを考えると道路整備が担う役割が大きいのと感じる。(製造業)
- 荒尾市民病院の利用に不安を感じる。(サービス業)
- 実際の状況はわからないが、朝夕の渋滞を知っているため、その渋滞が救急搬送の支障になると感じる。自分が長洲、玉名周辺に居住していると考えたら不安が大きいのではとも感じる。(卸売・小売業)
- 熊本市内の医療機関はあまり利用しない。(建設業)
- 救急車が通る時はみんな路肩に寄せてくれているので、協力的で不安には感じない。(建設業)

### <地域住民・広域的な道路利用者>

- 約6年前、夜に公立玉名病院で脳出血の対応ができず、玉名から国立病院に救急車で搬送されたが、1時間近くかかった。一刻を争うときに、救命されないのではと不安に思う。
- 救急車が渋滞にはまり、身動きが取れないのを何度も見た。この状況で自分が救急車に乗せられたら命が助からないのではないかと感じる。
- 玉名市内中心部、熊本市内中心部医療機関への通院に手間取る。
- 県北地域でもさらに有明海沿岸、県境に近いエリアでは大規模病院も限られていて、熊本市内の大病院はもとより、玉名市のくまもと県北病院や大牟田方面への搬送にも現道を使っていくには時間がかかり、心もとない。
- 緊急走行が前提であればそこまでの不安は感じない。
- 二次救急病院が複数あり、三次救急病院が必要な際も救急ヘリなどの使用もある為そうは思わない。

### <自治体意見>

- ・ 荒尾・玉名地域には、「有明医療センター」「くまもと県北病院」といった地域の中核を担う医療施設があるが、地域内全域からの円滑な搬送については不安がある。また、地域内で診療できない科目もあるため、熊本医療センター等の熊本市内の第三次救急医療施設への受診や救急搬送も多く、熊本市方面への道路整備は必要であると感じる。(長洲町)
- ・ 緊急搬送以外の検診やかかりつけ医など日常的な受診についても、熊本市内の大規模な病院へ行く住民も多い。有明海沿岸道路の整備により、搬送時間短縮や走行性向上の効果が発現し、市民の安全・安心な受診や重篤患者の円滑な緊急搬送、医療機関の広域連携などにも寄与できる。(玉名市)
- ・ 当町からの重篤患者を荒尾市内の病院への緊急搬送することも多いのだが、主なルートは国道208号となるが、片側1車線の区間もあり、渋滞区間もあるため、有明海沿岸道路整備による渋滞緩和により医療機関への安全安心な搬送になることを期待する。(玉東町)

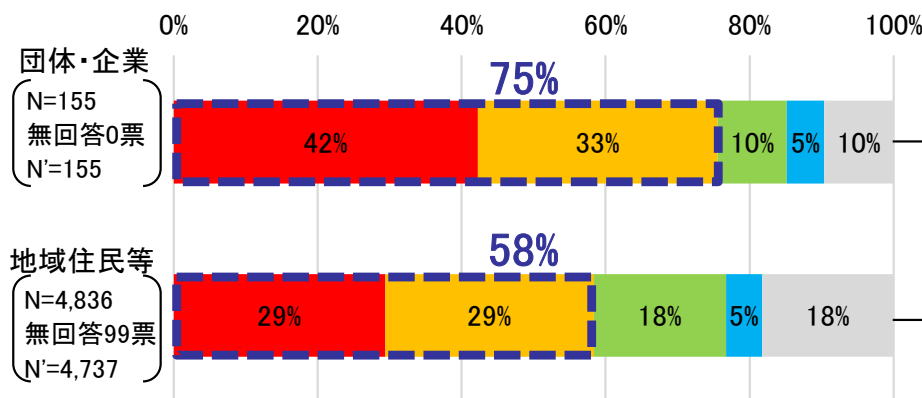
# 第1回意見聴取結果＜地域の現状と課題：「産業」＞

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

＜課題③：地域の製造品や農産物の運搬を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる＞

- いずれの意見聴取方法においても、5割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、移動に時間がかかるといった意見や今後の企業進出に対する懸念、物流効率化を求める意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、効率的な輸送活動を担う道路整備の要望や道路整備に伴う企業進出への期待が挙げられている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



### ＜団体・企業＞

- 熊本方面は柳川方面と比較してアクセス性が低い。柳川方面へはアクセス性が向上し、輸送時間の短縮（2時間半が1時間半に）し、人件費や燃料代等の経済的な効果も大きい。（運輸・郵便業）
- 荒尾・玉名地域でも、菊池・大津地域の半導体関連企業の進出の影響が考えられる。関連企業の誘致が考えられるが、強靱なサプライチェーンの構築という意味では、熊本市方面の道路整備によるアクセス性の向上が必要。（団体）
- 収穫からの出荷までの流れとして、朝から日中にかけて収穫した農産物を、夕方に大同青果に運ぶことが多い為、退勤ラッシュと重なることが多く、不便を感じている。集荷の時間制限は設けていないため、集荷の時間に間に合わないという事は無いが、鮮度が重要なため渋滞が緩和してほしい。（卸売・小売業）
- 今後、TSMC等の半導体関連企業の進出により、特に混雑する可能性があり、高速道路ネットワークの必要性を感じる。既存の工業団地に半導体関連企業が進出してきており、今後の立地状況によっては交通混雑が悪化すると感じる。（団体）
- 福岡方面から熊本方面への運送は不便な面が多いので、早く有明海沿岸道路を開通して欲しい。（情報通信業）
- 高速道路、農免道路を利用すればよい。高速道路、能面道路までの過程の県道が狭くて不十分である。（農業・林業・漁業）
- 感じたことはない。（建設業）

### ＜自治体意見＞

- ・ 近隣の玉名地域ではトマトやイチゴの生産が盛んであり、主に県外への出荷を行っていることから、長洲町～玉名市区間の整備による輸送時間の短縮は販路拡大に繋がるものであり、期待している。（荒尾市）
- ・ 町内の企業からは、輸送が一般道路に限られ時間が読めないため、早朝に出発し、到着地で待機することが多いと聞いている。長洲工業団地や名石浜工業団地など企業が集積する産業が盛んな地域であるため、効率的な輸送活動を担う道路整備は必要であると感じる。（長洲町）
- ・ 農業以外についても、市内では新たな工業団地の整備や小学校跡地を活用した工場建設用地の確保等が進められており、企業誘致が進んでいる状況。特に熊本県内の半導体関連の需要の増加など、今後の企業進出が期待できる状況であり、輸送を支える有明海沿岸道路の整備による相乗効果を期待している。（玉名市）
- ・ 本道路の整備により、物流ネットワークが強化され、沿線地域への企業・商業施設などの進出による地域経済の活性化が期待されるとともに、農産物の輸送時間短縮、輸送コストの減少により、農業産出額の増加が期待される。（熊本県）

### ＜地域住民・広域的な道路利用者＞

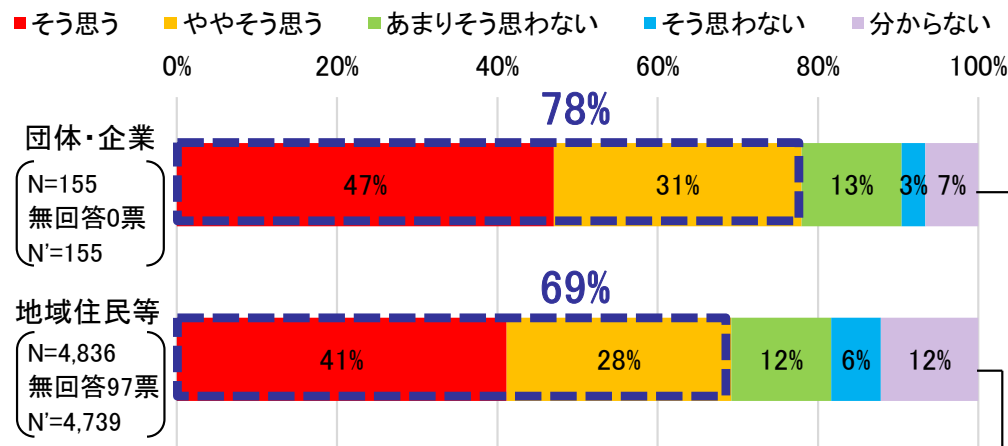
- 主要大型車両が夜中や早朝に多く移動している。混雑を避けるためにそうしているドライバーも多いのではないかと感じる。
- 沿岸道路があると輸送効率性が上がり、各地域の農海産物や特産品を新鮮な物を届けることが出来て、お互いの地域交流にもつながるのではないかと感じる。
- 交通混雑により運搬業者が目的地に急いでいる状況で、あおり運転等も見受けられる。
- 広域・高速ネットワークが構築された地域と比較して、商圏が限定され、かつ、余分な荷待ち時間を設定せざるを得ないと考えられるため。
- 運送業者次第だと思うため。
- 現時点では問題ないと思うが、今後はわからない。

# 第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「観光」>

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題④: 有明海沿岸地域(佐賀・福岡～熊本間)の主要観光地間のアクセス性が低いと感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、地域内外の観光地までの移動が不便といった意見や広域的な観光連携を求める意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、アクセス性の低さによる観光阻害や有明海沿岸地域全体の観光ネットワークの形成が求められている。



### <団体・企業>

- 佐賀方面については、有明海沿岸道路の整備によりアクセス性が向上し、来訪する頻度が増加したという効果を感じる。逆に、佐賀市在住の方が荒尾市方面へアクセスしやすくなったという声も聞く。熊本市方面へのアクセス性向上は課題であり、整備により一体的な観光振興につながると考える。(団体)
- 広域的な観光として、有明海沿岸地域に加え、宇城・宇土・天草地域等へのアクセス性が向上すれば、一体的な観光促進が可能になるのではないかと。(運輸・郵便業)
- 熊本市方面への延伸はフェリー利用者の増加等、期待できることが多い。(サービス業)
- 観光地へのアクセス性が低い。とくに九州道からのアクセス性が低いので、遠方から来訪しにくいのではないかと。(団体)
- アクセス性は低いと感じる。もっとスムーズに熊本方面に向かいたい。(情報通信業)
- この地域に観光に行くところがないため。(サービス業)

### <自治体意見>

- ・ 福岡佐賀方面に関しては有明海沿岸道路が整備されたことにより、柳川市内や佐賀空港などへのアクセス性が飛躍的に向上しており、熊本方面への早期延伸による沿岸地域全体の観光ネットワークの形成、アクセス性の向上が望まれる。(荒尾市)
- ・ 町内には、自動車とフェリーを組み合わせることが可能な長洲港があり、観光における交通結節点(ゲートウェイ)としての機能を期待している。長崎方面から熊本市方面等の地域一体となった観光の拠点として活かしたいと考えており、そのためにアクセス性向上を担う有明海沿岸道路の整備が必要である。(長洲町)
- ・ 地域内には観光施設や観光資源はあるもののアクセス性が低いため、その効果を十分に発揮していない。九州縦貫自動車道まで時間がかかり、整備済みの有明海沿岸道路までも30分以上かかる状況。(玉名市)
- ・ 国指定史跡である西南戦争史跡をはじめとした歴史文化の整備を進めており、令和9年には西南戦争(1877年)から150年の節目を迎える。観光アクセス道路となる有明海沿岸道路整備により、今まで以上に佐賀、福岡方面からの観光にきてもらうことを期待している。(玉東町)

### <地域住民・広域的な道路利用者>

- 高速道路は遠いし、JRも便数が減り、特急もなくなり、新幹線へのアクセスも不便で、もう諦めてました。
- 佐賀空港の重要性が高まっており、有明海沿岸道路が果たす役割は大きいと感じているので、熊本県北部からのアクセス向上が望まれる。また、周回性を高めて地域が一体となった観光戦略を描き、インバウンド需要の取り込みなど、国策に資する意義も大きい。
- 玉名、荒尾、大牟田方面にも出かけたが、渋滞したり道が悪いので出かける気になれない。
- もっと便利になったら遊びに行きやすと感じます。平良からフェリーで来る人も便利になると思う。
- 観光の時間が確保できないのではないかと。
- そもそも魅力的な観光地が少ないから。
- 以前よりはるかにインフラが良くなったので感じない。

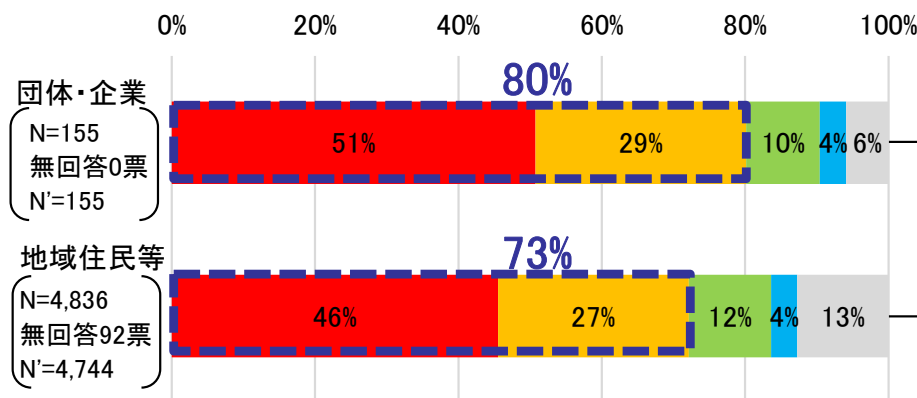
# 第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「防災」>

## ■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題⑤: 災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、熊本地震時の交通状況や災害時の通行止めに対する不安、通行止め時の代替路がないといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、災害時の通行止めの懸念や救援活動を支援する道路ネットワークの形成が求められている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



### <団体・企業>

- 熊本地震の際には、九州縦貫自動車道が通行止めになった際に、有明海沿岸道路が通行可能であり、荒尾市が被災地への災害救援拠点として機能した。一方で、国道208号や国道501号で大規模な交通混雑が発生したことで、熊本市方面への支援に時間がかかっていた。大規模災害のことを考えると災害に強い高規格道路が必要。(団体)
- 国道208号や国道501号が通行止めになった際には、代替路がない(ほかの道路は線形が悪く、道幅も狭い)ため、非常に困る。(運輸・郵便業)
- 国道208号、国道501号だけでなく高速道路も止まると身動きできない。(製造業)
- 九州道が通行止めとなることで、一般道の渋滞が悪化することがあり、自社の輸送でも問題を感じている。通常1時間程度で到着する距離を3時間かけて輸送するということもあり、輸送業として問題と感じている。(卸売・小売業)
- 熊本地震時に九州縦貫自動車道が通行止めになった際には、大規模な交通混雑が発生した。災害に強い高規格道路があれば、一般車両を制限し、緊急車両を通行させる等の柔軟な対応が可能になるのではないか。(団体)
- 津波、地震等の災害時であれば感じる。(建設業)
- 通行止めになったことがない。(製造業)

### <地域住民・広域的な道路利用者>

- 地震などの災害時に、通行止めで避難ができなかったり、遅れたりするのは怖いです。災害に強い道路が必要だと思います。
- 海、川、山に囲まれた地域なので主要道路が寸断された場合を想定すると非常に不安があると思う。
- 熊本地震の時に大渋滞が発生して、熊本県を中心に物流が麻痺した。一時的なものではなく、かなりの期間に渡って渋滞が続いて大きな影響が出た。とても不安。
- 地震や大雨等の災害が発生した時に安心して通れる道がない。
- 大規模災害時に迂回できる幅広な幹線道路が少ないため、豪雨や積雪で一旦交通がマヒすると移動が困難になると感じている。
- 災害に遭遇したことがないから。
- あったほうが便利だとは思いますがなくとも影響はない。

### <自治体意見>

- ・令和2年の豪雨時は荒尾市、大牟田市の国道208号が冠水し、通行不可能になった。また、国道501号については高潮浸水想定区域に位置していることや他の一般道路についても河川が多いことから洪水に対する不安もある。水害時の通行止めや孤立の発生への懸念に対して、地域内の災害に強い道路ネットワークの形成が喫緊の課題である。(長洲町)
- ・熊本地震で九州縦貫道路が通行止めにより、国道を中心に大規模な交通混雑が発生した。市内の生活道路も渋滞となり道路交通に支障が出た状況であった。また、玉名市内の拠点から被災地への救援活動が実施されていたが、交通混雑により熊本市方面の円滑な移動が阻害されていた。(玉名市)
- ・玉名市～長州町間は沿岸部の広範囲にわたって津波・高潮の浸水想定区域が広がっており、津波・高潮発生時には国道208号や国道501号が寸断する恐れがある。このため、災害時も通行可能な信頼性の高い道路ネットワークの確保が課題である。本道路の整備により、大規模災害時における安定的な救援活動が期待される。(熊本県)

# 第1回意見聴取結果(自治体意見)

## ■自治体への意見聴取結果【熊本県】

国道208号(荒尾～玉名間)、国道501号(長洲～玉名間)に関する課題について		意見
①暮らし	朝夕のピーク時等で交通量が多く、移動に時間がかかると感じる	・国道208号の玉名市区間では、地域内交通に加え、通過交通が多く、朝夕を中心に交通混雑が発生しており、2箇所の主要渋滞箇所が存在している。また、長洲工業団地・名石浜工業団地が立地する国道501号の長洲町区間では、大型車が多く、朝夕を中心に交通混雑が発生している。このため、移動時間短縮の観点から、速達性の向上が課題である。本道路の整備により、渋滞緩和による朝夕の定時性の確保が期待される。
	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故が多い区間だと感じる	・国道208号では、1kmあたりの死傷事故件数が県内国道平均の約2.1倍、国道501号では約1.2倍となっており、特に速度低下区間において多く発生している。また、事故危険箇所も点在し、交通混雑に起因する追突事故の割合が高くなっている。このため、交通事故防止の観点から、道路の走行性、安全性の向上が課題である。本道路の整備により、交通安全性の向上による交通事故の防止、死傷事故の低下につながることを期待される。
②医療	地域内外の医療施設や熊本市の大規模な医療施設への円滑な移動・搬送に不安を感じる	・医療機関への救急搬送では、管内・管外搬送ともに国道208号と501号が主に利用されているが、交通混雑の発生や信号交差点が多数存在することや、大型車の混在等により、急停止や急発進、長時間の搬送が患者への負担となっている。また、重篤患者の受け入れとなる熊本市内の第三次救急医療機関への搬送にあたっては、管内の現場から1時間以上を要しており、救命率の低下が懸念される。このため、迅速な救急搬送の観点から、救急医療施設への速達性や走行性の向上が課題である。本道路の整備により、円滑な救急搬送が可能となり、患者の負担軽減、救命率の向上が期待される。
③産業	速達性や定時性が低く、地域産業を支える高速道路ネットワークが不十分だと感じる	・長洲町は、長洲工業団地や名石浜工業団地が立地し、工業が盛んな地域であるが、アクセスルートが一般道路に限られており、輸送時間が読めないことによる大型車の荷待ち時間が発生するなど、非効率な物流により、生産性の低下を招いている。また、玉名市では県内2位のトマトの出荷量を誇るなど、農業が盛んな地域であるが、「くまもと田崎市場」への輸送ルートとなる国道501号は、交通混雑により速達性が低く、農産物の鮮度低下等が発生している。このため、物流の効率化の観点から、物流拠点へのアクセス強化、速達性・走行性の確保が課題である。本道路の整備により、物流ネットワークが強化され、沿線地域への企業・商業施設などの進出による地域経済の活性化が期待されるとともに、農産物の輸送時間短縮、輸送コストの減少により、農業産出額の増加が期待される。
④観光	地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低いと感じる	・有明海沿岸道路の沿線地域には、万田坑や宮原坑、三池港などの世界遺産とともに、グリーンランドや荒尾干潟など多くの観光資源を有しているが、高速ネットワークが不足しており、移動に多くの時間を要している。このため、観光施設間の周遊性向上の観点から、高速性の高い観光ルートの確保が課題である。本道路の整備により、観光資源を活用した交流人口の拡大による地域の活性化が期待される。
⑤防災	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる	・平成28年熊本地震では、九州縦貫自動車道の長期間通行止めに伴い、国道3号のみならず、国道208号、国道501号への多くの迂回交通により、大規模な交通渋滞が発生し、物資輸送等に支障が生じた。また、玉名市～長洲町間は沿岸部の広範囲にわたって津波・高潮の浸水想定区域が広がっており、津波・高潮発生時には国道208号や国道501号が寸断する恐れがある。このため、災害時も通行可能な信頼性の高い道路ネットワークの確保が課題である。本道路の整備により、大規模災害時における安定的な救援活動が期待される。
その他意見・要望		・有明海沿岸道路は、佐賀・福岡・熊本の3県にまたがる広域的な経済交流圏を創出するとともに、九州の循環型高速交通ネットワーク形成に不可欠な道路である。また、九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資するとともに、地域間の物流を平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するためにも、本路線の早期整備が必要である。本県としても、有明海沿岸道路の事業促進を図るため、地元調整等に万全を期す所存であり、今後も早期事業化に向け、手続きをより一層加速して頂くようお願いしたい。



# 第1回意見聴取結果(自治体意見)

## ■自治体への意見聴取結果【荒尾市】

国道208号(荒尾～玉名間)、国道501号(長洲～玉名間)に関する課題について		意見
①暮らし	朝夕のピーク時等で交通量が多く、移動に時間がかかると感じる	・平日の朝夕はもちろんであるが、休日の昼間でも渋滞し移動に時間を要する状況であり、国道の渋滞により接続する県道、市道の渋滞も慢性化している状況である。
	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故が多い区間だと感じる	・県内の国道の中でも死傷事故等の発生件数も多く、安全面での不安がある。
②医療	地域内外の医療施設や熊本市の大規模な医療施設への円滑な移動・搬送に不安を感じる	・本市においても令和5年10月に「荒尾市立有明医療センター」を開院し、災害拠点病院として受け入れ態勢を整えているところであるが、熊本市内の医療機関との搬送時間は1時間以上であり、道路ネットワークの整備は喫緊の課題であると感じている。
③産業	速達性や定時性が低く、地域産業を支える高速道路ネットワークが不十分だと感じる	・国道208号及び国道501号は物流面でも重要な路線であるが、渋滞等による輸送時間の遅延など道路ネットワークの不十分な地域だと感じている。 ・近隣の玉名地域ではトマトやイチゴの生産が盛んであり、主に県外への出荷を行っていることから、長洲町～玉名市区間の整備による輸送時間の短縮は販路拡大に繋がるものであり、期待している。
④観光	地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低いと感じる	・福岡佐賀方面に関しては有明海沿岸道路が整備されたことにより、柳川市内や佐賀空港などへのアクセス性が飛躍的に向上しており、熊本方面への早期延伸による沿岸地域全体の観光ネットワークの形成、アクセス性の向上が望まれる。
⑤防災	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる	・熊本地震時には大規模な交通渋滞を経験しており、災害に強いダブルネットワークの構築は急務であると感じている。
その他意見・要望		・有明海沿岸道路(福岡-佐賀区間)の整備効果は十分に実感しており、平常時、災害時及び物流・人流の観点を踏まえ、長洲町～玉名市区間の整備、そして更なる延伸は沿岸地域を含む九州全体の道路ネットワーク計画の一翼を担うものであると期待している。

# 第1回意見聴取結果(自治体意見)

## ■自治体への意見聴取結果【長洲町】

国道208号(荒尾～玉名間)、国道501号(長洲～玉名間)に関する課題について		意見
①暮らし	朝夕のピーク時等で交通量が多く、移動に時間がかかると感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の通勤通学時間帯で交通混雑が発生する。国道208号については、特に主要渋滞箇所である西照寺交差点で交通混雑が発生している。</li> <li>・国道501号については、名石浜工業団地等に企業が集積していることもあり、朝ピークは熊本市方面から長洲町方面へ、夕ピークは長洲町方面から熊本方面へとといった形で渋滞が発生している状況。片側1車線となっていることもあり、ピーク時には名石浜工業団地の前から菊池川まで渋滞することもある。</li> <li>・国道208号や国道501号に加え、県道や町道等の生活道路にも交通が流入している状況であり、地域全体として交通混雑の緩和が課題。</li> </ul>
	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通混雑時の追突等の交通事故への危険性はもちろんのこと、大型車の通行も多いため、二輪車や歩行者の通行における危険性も高いと感じる。また朝夕ピーク時以外の日中や早朝、深夜の時間帯でも大型車の通行量が多いため、危険性を感じる場面は多い。</li> <li>・住民が安心して生活できる環境を整えるために、交通混雑の緩和が必要であり、一般道路と高規格道路の機能を分担することによる交通環境の改善が期待できる。</li> </ul>
②医療	地域内外の医療施設や熊本市の大規模な医療施設への円滑な移動・搬送に不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒尾・玉名地域には、「有明医療センター」「くまもと県北病院」といった地域の中核を担う医療施設があるが、地域内全域からの円滑な搬送については不安がある。また、地域内で診療できない科目もあるため、熊本医療センター等の熊本市内の第三次救急医療施設への受診や救急搬送も多く、熊本市方面への道路整備は必要であると感じる。</li> <li>・熊本市内をはじめとした医療施設への速達性向上に加え、患者の負担を考慮すると救急車両の急停止や急発進の回避といった走行安全性の確保も課題である。</li> </ul>
③産業	速達性や定時性が低く、地域産業を支える高速道路ネットワークが不十分だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の企業からは、輸送が一般道路に限られ時間が読めないため、早朝に出発し、到着地で待機することが多いと聞いている。長洲工業団地や名石浜工業団地など企業が集積する産業が盛んな地域であるため、効率的な輸送活動を担う道路整備は必要であると感じる。</li> <li>・今後、熊本県内では半導体関連企業をはじめとした需要増加が考えられ、町内でも企業誘致の促進に対する期待がある。熊本市方面への高速ネットワークが実現すれば、企業の立地における選択肢も増加すると思われる。</li> </ul>
④観光	地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県や大分県等の遠方からの来訪においては、九州縦貫自動車道からのアクセス性が悪いことが大きな問題であり、観光客の視点では、速達性が高く、わかりやすい道路があるということが重要であると感じる。</li> <li>・町内には、自動車とフェリーを組み合わせることが可能な長洲港があり、観光における交通結節点(ゲートウェイ)としての機能を期待している。長崎方面から熊本市方面等の地域一体となった観光の拠点として活かしたいと考えており、そのためにアクセス性向上を担う有明海沿岸道路の整備が必要である。</li> <li>・福岡・佐賀方面に関しては有明海沿岸道路が整備されたことにより、アクセス性が向上しており、佐賀空港を利用した観光客の増加等の効果が現れている。今後の熊本方面への延伸により、新たな地域間交流の実現が期待される。</li> </ul>
⑤防災	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止め不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年の豪雨時は荒尾市、大牟田市の国道208号が冠水し、通行不可能になった。また、国道501号については高潮浸水想定区域に位置していることや他の一般道路についても河川が多いことから洪水に対する不安もある。水害時の通行止めや孤立の発生への懸念に対して、地域内の災害に強い道路ネットワークの形成が喫緊の課題である。</li> <li>・熊本地震時には九州縦貫自動車道が通行止めになり、流入交通による大規模な交通渋滞を経験しており、災害に強い道路ネットワークの必要性を感じている。</li> <li>・救援活動の面からも、実際に熊本地震時の物資輸送の拠点として長洲港が機能したが、今後も災害時の拠点として活かしていきたいと考えている。円滑な広域支援の実現という面からも、救援拠点からの円滑なアクセスを担う道路整備が重要である。</li> </ul>
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海沿岸道路の整備への期待に加え、地域内では名石浜工業団地～国道208号～九州縦貫自動車道(南関IC)を結ぶ道路整備を熊本県・荒尾市と合同して進めている。交通混雑緩和や円滑な移動の実現のために、有明海沿岸道路に限らず、一体となった道路事業を推進していきたいと考えている。現在、都市計画決定済みの長洲ICに加え、名石浜工業団地に隣接するIC(名石浜IC(仮称))の設置等、有明海沿岸道路への円滑なアクセスの実現についても要望したい。</li> </ul>

# 第1回意見聴取結果(自治体意見)

## ■自治体への意見聴取結果【玉名市】

国道208号(荒尾～玉名間)、国道501号(長洲～玉名間)に関する課題について		意見
①暮らし	朝夕のピーク時等で交通量が多く、移動に時間がかかると感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道208号と国道501号どちらの国道も大型車両の通交が多く、慢性的な渋滞が発生している。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、2つの国道の渋滞緩和が見込まれ、近隣市町へのアクセス性が向上し、交流の清流化が図られる。また、有明海沿岸道路が大型車等の通過交通を担うことにより、地域の生活道路の通行が緩和されスムーズな通行が期待できる。</li> </ul>
	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車両の通過交通が多いが、道路幅員が狭いこともあり、交通事故が多発するなど危険性が高い道路と認識している。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、2つの国道で大型車両の通過交通が減少することから、事故の危険性も低くなると思われる。国道以外の生活道路についても、交通の分離が図られるため交通事故の減少が期待できる。</li> </ul>
②医療	地域内外の医療施設や熊本市の大規模な医療施設への円滑な移動・搬送に不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉名市の重篤患者を熊本市内の医療機関へ搬送するなど、熊本市内の大規模な医療機関(熊本市)への受診傾向が高いが、移動は1時間以上かかる状況である。また、2つの国道は一車線が多く、緊急搬送が阻害されることも多い。</li> <li>・緊急搬送以外でも、検診やかかりつけ医など日常的な受診についても、熊本市内の大規模な病院へ行く住民も多い。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、搬送時間短縮や走行性向上の効果が発現し、市民の安全・安心な受診や重篤患者の円滑な緊急搬送、医療機関の広域連携などにも寄与できる。</li> </ul>
③産業	速達性や定時性が低く、地域産業を支える高速道路ネットワークが不十分だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの国道は、地域農業や製造業の物流を担う重要な幹線道路であるが、渋滞がひどくスムーズな物流が行われていない状況である。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、農業や製造業等の振興が期待できる。特に玉名市の基幹産業である農産物の物流に対し、有明海沿岸道路を利用して熊本市方面への物流活動の拠点になる道路になると予想される。</li> <li>・農業以外についても、市内では新たな工業団地の整備や小学校跡地を活用した工場建設用地の確保等が進められており、企業誘致が進んでいる状況。特に熊本県内の半導体関連の需要の増加など、今後の企業進出が期待できる状況であり、輸送を支える有明海沿岸道路の整備による相乗効果を期待している。</li> </ul>
④観光	地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内には観光施設や観光資源はあるもののアクセス性が低いため、その効果を十分に発揮していない。九州縦貫自動車道まで時間がかかり、整備済みの有明海沿岸道路までも30分以上かかる状況。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、九州各県から玉名市内の観光に繋がる広域観光ルートが形成されることで、広域的な観光客の増加や経済活性化が期待できる。</li> <li>・現在、まちなかの更なる活性化や交流促進を目的に、「玉名市まちなか未来プロジェクト」として、公共空間を活用した社会実験事業の実施等、官民連携による地域交流活性化に取り組んでいる。また、交通結節点である新玉名駅の周辺開発も進めている。基幹道路となる有明海沿岸道路の整備による地域外からのアクセス性向上や地域内の観光地の周遊性向上については大きな期待を持っている。</li> </ul>
⑤防災	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本地震で九州縦貫道路が通行止めにより、国道を中心に大規模な交通混雑が発生した。市内の生活道路も渋滞となり道路交通に支障が出た状況であった。また、玉名市内の拠点から被災地への救援活動が実施されていたが、交通混雑により熊本市方面の円滑な移動が阻害されていた。</li> <li>・有明海沿岸道路の整備により、災害に強い道路ネットワークが構築され、代替路の確保による災害時の交通機能低下の回避が可能になる。</li> <li>・救援活動の面でも、物資輸送等を支える道路ネットワークが確保されることで、災害時の早急な広域連携が可能になると考えられる。</li> </ul>
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海沿岸道路が玉名市までつながることにより、熊本市に限らず、山鹿市や菊池市などへのアクセス性が向上することで、生活面や経済面など様々な視点で県北地域全体の活性化や振興が期待できる。</li> <li>・玉名市では国道501号から国道208号への接続強化を担う都市計画道路である岱明玉名線をはじめとした道路整備を実施している。有明海沿岸道路についても、本線への円滑なアクセスを確保するという視点が重要であると考えている。</li> </ul>

# 第1回意見聴取結果(自治体意見)

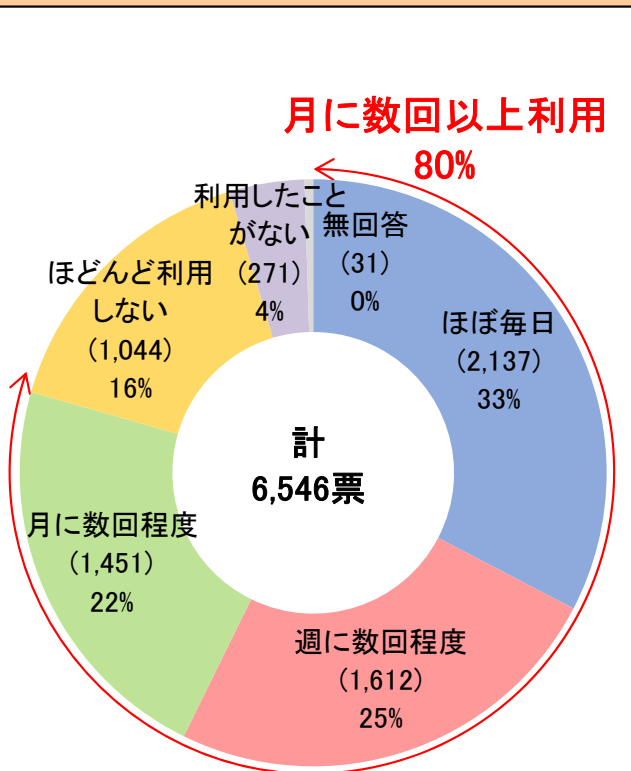
## ■自治体への意見聴取結果【玉東町】

国道208号(荒尾～玉名間)、国道501号(長洲～玉名間)に関する課題について		意見
①暮らし	朝夕のピーク時等で交通量が多く、移動に時間がかかると感じる	・国道208号は、当町を横断する幹線道路であり、荒尾玉名方面に向かうための重要な道路である。玉東町から通勤通学で約3割の町民が荒尾玉名方面であり、その移動は車両での移動が多い。玉東町内の国道も渋滞が多くみられるが、玉名市内は玉名バイパスが開通したことでスムーズに通過できていると感じるが、荒尾市内では渋滞により移動に時間を要していると声を聞く。
	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故が多い区間だと感じる	・国道208号を通過する産業用の大型車両は多いため、重大な事故等が発生する危険が高く安全性の向上が必要と考える。
②医療	地域内外の医療施設や熊本市の大規模な医療施設への円滑な移動・搬送に不安を感じる	・当町からの重篤患者を荒尾市内の病院への緊急搬送することも多いのだが、主なルートは国道208号となるが、片側1車線の区間もあり、渋滞区間もあるため、有明海沿岸道路整備による渋滞緩和により医療機関への安全安心な搬送になることを期待する。
③産業	速達性や定時性が低く、地域産業を支える高速道路ネットワークが不十分だと感じる	・当地域は農業が盛んであり、農協をはじめとする団体個人による農作物の運搬は最重要課題である。働き方改革等により運転手確保の問題などあり、渋滞解消などによる運搬時間を短縮することも重要であると考えられる。そのため広域道路ネットワークは早急に整備を進めてほしい。
④観光	地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低いと感じる	・国指定史跡である西南戦争史跡をはじめとした歴史文化の整備を進めており、令和9年には西南戦争(1877年)から150年の節目を迎える。観光アクセス道路となる有明海沿岸道路整備により、今まで以上に佐賀、福岡方面からの観光にきてもらうことを期待している。
⑤防災	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる	・熊本地震時には九州縦断道路の通行止め等により、国道208号をはじめ多くの路線が大渋滞となった。災害時の、支援物資などの運搬についてこれらの高規格道路の整備により少しでも早い支援につながることを期待している。
その他意見・要望		・有明海沿岸道路(福岡-佐賀区間)の整備により、佐賀・長崎方面からの帰省する機会が多くなったとの話も聞いている。これから更なる延伸により、このような交流の機会が増えるための重要なアクセス道路としての役割を期待する。

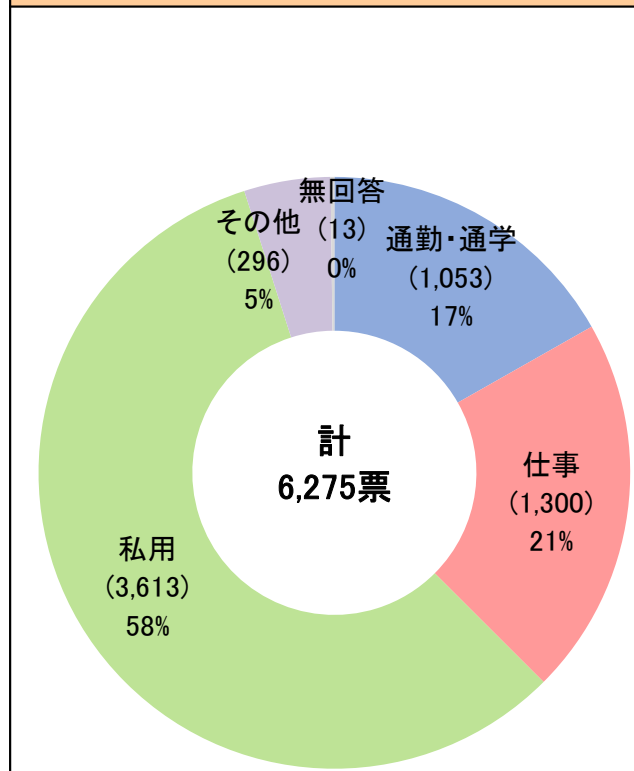
# 第1回意見聴取結果<参考:【回答者属性】>

- 回答者の約8割の方が対象区間を利用している。
- 利用目的は私用が多く約6割、次いで仕事、通勤通学が約2割の順になっている。
- 利用交通手段は自動車が9割以上を占めている。

国道208号(荒尾～玉名間)・  
国道501号(長洲～玉名間)の  
利用頻度

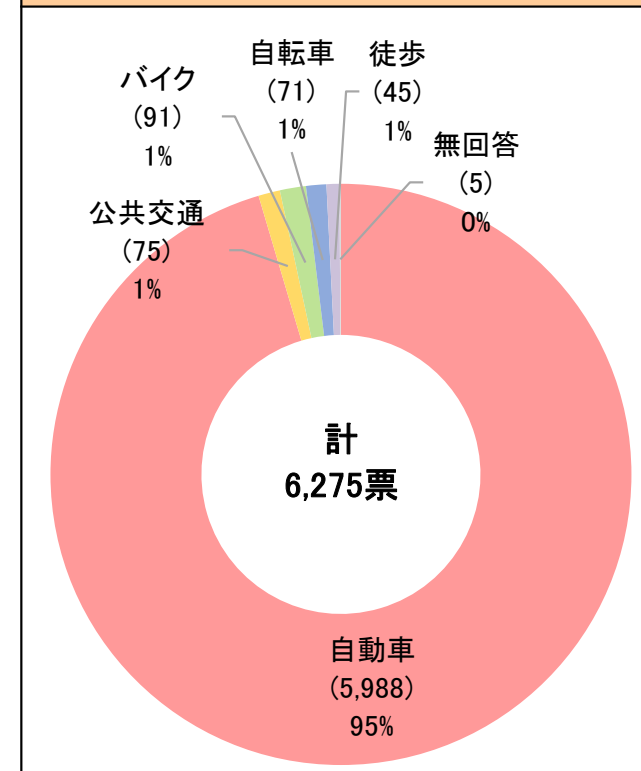


国道208号(荒尾～玉名間)・  
国道501号(長洲～玉名間)の  
利用目的



※「利用したことがない」回答者を除く  
※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

国道208号(荒尾～玉名間)・  
国道501号(長洲～玉名間)の  
移動手段



※「利用したことがない」回答者を除く  
※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある